

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	772 小学校療育学級整備事業	会計	01	一般会計
		款	01	教育費
		項	01	小学校費
		目	02	学校管理費
基本 施策	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	細目	415	学校管理経費
		細々目	04	療育学級経費
行革大綱の重点事項番号		コード	450300	担当者
担当部課	名称	名称	学校教育課	氏名
		連絡先	22 - 9677 (内線) 3821	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	小学校療育学級入級児童	※対象件数
成果(どうする)	長期の入院時において、病院内で学習指導を受けることができる	
根拠法令・要綱等	学校教育法	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業 内容	1. 療育学級入級児童の学習支援 2. 療育学級の学習環境整備	
社会情勢 の変化等	上野総合市民病院において、小児科の入院ができなくなったが、市内の他の入院可能な病院での学習支援を継続したい	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
療育学級入級児童数	目標		3	2		
	実績		0	0	2	2
	目標					
	実績					

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
療育学級入級希望に対して入級 できた割合	目標	長期の入院中でも学習を保障する場として 設置されているので、その活用割合を指標 とした		100	100	100	100
	実績			100	100		
	目標						
	実績						

投入 コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
A の 財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	5	5
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	0	0	5	5
事業投入人件費(B)		0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)		720	720	720	720
		720	720	725	725

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的な内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効果性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
昨年度 の 取 組 状 況	当初設定した計画を	100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
改善策	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
今後の方向性(Action)	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	【状況】	計画のとおり進んでいない
改善策	【理由】	
	【詳細】	
改善策	本年度中に伊賀市内の病院に限定せず、病気に適切な療育学級への入級を提示できるようにする。	
	療育学級への入級希望児童生徒がいなかったため、具体的な検討は行っていない	
改善策	【理由】	
	【詳細】	
改善策	入級希望者がいる場合を想定して予算措置をしておく必要がある	
	現時点における課題、その他	伊賀市内において上野市民病院にかかわる受入病院を確保できていない。
改善策	【理由】	
	【詳細】	
改善策	課題、その他に対する改善策	
	（いつまでに、何を、どうする）	上野市民病院と連携して、病気に適切な療育学級への入級を提示できるようにする。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	仁保 晋作
【方向性】	現状維持
【理由】	
入級希望者がいる場合を想定して予算措置をしておく必要がある	
現時点における課題、その他	伊賀市内において上野市民病院にかかわる受入病院を確保できていない。
課題、その他に対する改善策	
（いつまでに、何を、どうする）	上野市民病院と連携して、病気に適切な療育学級への入級を提示できるようにする。